

「生出小学校 5 年生福祉学習」報告

令和 7 年 7 月 1 4 日

令和 8 年 7 月 1 4 日（火）に、生出小学校の 5 年生 2 3 名を対象に福祉学習と車椅子リレーを実施しました。車椅子利用の児童が運動会で一緒にリレーをすることが出来なかったことから、今回、児童の発案で車椅子リレーを行うことになりました。また、リハビリについて知りたいと希望があり、リハビリについての講話も行いました。

はじめに、①リハビリについて②リハビリの職種③太白センターのことについて講話を行いました。「骨折したことがあるからリハビリを受けたことがある！」と数名の児童達から声があがりました。その後、センターにある杖や歩行器、装具を紹介し、何名かの児童に実際に使用してもらいました。児童達は初めて見る杖や装具に興味津々で、次々に体験してみたいと手があがりました。装具をつけて歩いてみて、「底が硬くて歩きにくい」「なんかいつもと違って動きにくい」等の感想が聞かれました。次に、白杖と視覚障害体験用のゴーグルを使い、視覚障害の体験も行いました。こちら、体験してみたいと次々に手があがり、当事者役と介助者役に分かれて体験してもらいました。見えづらい中、介助者の誘導で歩き、「怖かった」「不安だった」との感想を持ったようでした。時間に限りがあったため全員に体験してもらうことは出来なかったのですが、障害体験をしたり見ることで障害のある方の生活を理解する一助になったのではないかと思います。

講話の後、体育館へ移動して車椅子リレーを行いました。車椅子の取り扱い方の説明をしてから児童達の考えたルールでリレーを行いました。体育館の中はとても暑かったのですが、リレーをみんなで出来ることを楽しんで取り組んでいました。

今回の福祉学習が、障害のある人の生活を知るきっかけとなり、住みやすい街づくりに向けた取り組みへとつながっていくことを期待します。

